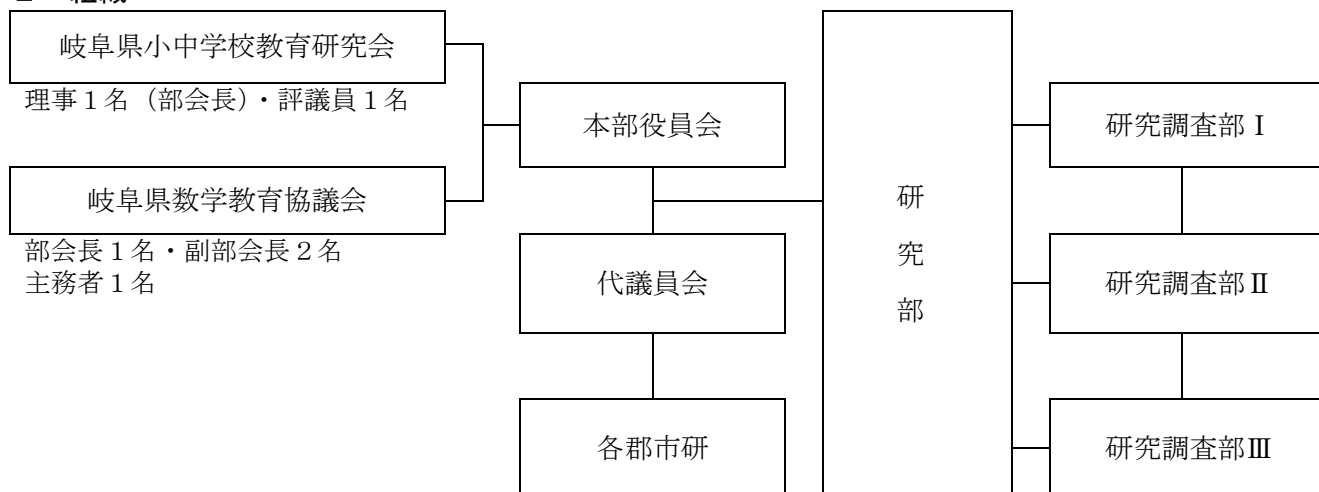


令和元年度 岐阜県小中学校算数科研究部会 活動方針

I はじめに

本会は、「岐阜県小中学校教育研究会小中学校算数科研究部会会則」に従って活動する。

II 組織



<本部役員会>

部会長、評議員を含む副部会長 3 名、研究部調査部顧問 3 名、主務者、書記、会計、研究部長、研究調査部長 3 名の計 14 名で構成され、次のことを行う。

○活動方針など、基本的事項の原案作成、処理

- ・年次計画の立案、活動や研究成果の紹介（県小算研のホームページを中心に）、代議員会の運営、研究協議会の企画、運営

<代議員会>

各郡市の代議員によって構成される。

- ・提案事項の審議をする。
 - ・各郡市の研究の実践報告をする。
 - ・他郡市の代議員と実践を交流し、地区委員を中心に重点課題にかかわって成果と課題を明らかにする
- 研究計画
- ・テーマ、設定理由、組織、研究計画、運営上の問題点等（第 1 回代議員会に各自 10 部持ち寄り、地区別に交流）
- 研究報告
- ・1 年間の研究の成果と課題等（第 2 回代議員会に各自 10 部持ち寄り、地区別で交流）
 - ・各郡市で行われた授業研究会の指導案（第 2 回代議員会には、持参の必要なし）
- 研究計画及び報告の提出先

<E-mail> ssk@syosanken.acs3.mmrs.jp

※小算研 HP 上に保存・活用する関係上、デジタルデータでの提出をお願いします。

提出〆切を 12 月 27 日（金）とします

<各郡市研>

30の郡市に分かれ、各郡市の全会員によって、県小算研の研究テーマ及び研究の重点をもとに、今日的課題及び地域の実態に即した研究を進める。

<研究部>

- 研究テーマや研究の重点、研究の進め方を提案し、その成果を県内に伝えていく。
- 研究調査部ⅠⅡⅢの3部会を設置し、県内の研究をリードしていく。
 - ・小算研の研究テーマ、研究の重点を小算研の部会員の中心となって専門的に研究・追究したり、実践したりしていく。
 - ・自分たちの研究の方向をもとに、常任委員が中心となって「研究協議会」「東海地方数学教育研究大会（東数教）」の提案者の研究の支援及び大会運営をする。

【研究調査部Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ】

算数の今日的課題にかかわって、先行的に独自のテーマを設定し、実践研究していく。また、その成果を県内に伝えたり、今後の小算研の研究の方向を示したりしていく。

おもに、研究調査部Ⅰでは「研究テーマを具現する授業改善」に取り組み、第2回の代議員会での授業研究会に向けて計画、実行していく。研究調査部Ⅱでは、算数・数学における問題発見・解決の過程における資質・能力の育成を目指し、単元構成の工夫や教材開発に取り組んでいく。研究調査部Ⅲでは岐阜県教育委員会が行う家庭学習用算数学習ソフト「G I F U We b ラーニング」の取組に協力し、問題の作成に携わる。また、会員の方に使ってもらえる資料としての指導案等のデータベース化をすすめたり、小算研のホームページの更新を進めたりする。

代議員会や研究協議会では、どの部もそれぞれの実践をもとにして、報告を行う。

Ⅲ 研究協議会

<研究協議会開催の意味付け>

- 県内の実践をもとに、これからの算数教育のあり方を検討する場とする。
- 原則、研究調査部の成果及び、今後の実践研究の方向を強くアピールしていく場とする。

<研究協議会の内容>

- 全体会（部会長、来賓あいさつ等）
- 研究調査部の発表 令和元年度の研究に関わって
- 講演（未定）
- 4分科会に分かれて、研究の重点にかかわる提案をもとに研究討議を行う
 - ・開催地区から3提案とそれ以外の5地区からそれぞれ1提案の、計8提案とする